

校長室だより

1月【睦月（むつき）】22号

生駒市立緑ヶ丘中学校 校長 滝澤治生

14日間の冬休みが終わり、3学期が始まりました。明日から全日授業となり、給食も再開します。

学校生活のリズムを整えて、進学や進級に向けて1年間の総まとめとなる3学期にしていきましょう。

3年生の皆さんには今日と明日の2日間にわたり、実力テストですね。1・2年生の皆さんには、課題テストや確認テストがありますね。皆さんに冬休み中に蓄えた力がうまく発揮されることを願っています。

◇ 始業式の話より（誇りと挑戦のお話）

令和8年の最初のお話となります。今日は2つ。まずはプライドについての話です。プライドとは英語ですが、日本語にすると「誇り」です。でもほかにも、自慢、うぬぼれ、思い上がりなどのマイナスな意味も含まれています。

だからプライドが高いっていうと、いい意味と悪い意味も含まれてるんですね。見栄を張っているという意味もあります。

でも、誇りを調べてみると、自分自身や自分のグループに対して持つ、自信や満足感、名誉に思う気持ちのことです。その意味の中には悪いイメージが一切ないので、うぬぼれや思いあがった気持ちは含まれません。

だからプライドが高い人間になるのではなく、誇り高い人間にならなくてはいけないんですね。

他人から何かを言われて、それが悪意のある一言であっても、何気ない一言であっても、傷つくことはいっぱいあります。そんなときに「あー、プライドが傷ついたわ」って、腹が立ったり落ち込んだりすることもあります。でもね。誇りは傷つきませんよね。自分が一生懸命頑張ってきたことや、大切にしてきたこと。他人にどう思われるようが、一心に取り組んできたこと。この尊い事実は、なくなることはないです。だから、誰からであっても、どんな攻撃をされようが、傷一つつかず、ピカピカなままです。

それともう一つ。後悔先に立たずとは言いますが、自分や人が傷つくような行動は、軽はずみにしないほうがいい。後悔する振る舞いをしないほうがいい。

でも、前向きな挑戦に限っては、私は、やらずに後悔するよりやって後悔する方の人間になってほしいと思っています。

やってみたけど準備不足や経験不足でなかなか成功しない。「あー、やらん方がよかったですかな」と思ふこともある。でも、「あーなんであの時やっとかなかつたんだろう」と取り返しがつかないですよね。時間は戻りませんので。

だから、やらない後悔よりやる後悔の方が、私は断然いいと考えています。やってみてうまくいかなくても、何回もやればいいだけの話ですので。挑戦し続けている間は失敗とは呼びません。あきらめたときに失敗となります。

さあ、みなさん、プライドではなく、誇りを大切にして、叶えたいことに向かって、恐れずに挑戦です。これがたくましいという意味です。

たとえ失敗しても大人がフォローします。みんなそれぞれが実りある1年になることを願い、始業式の挨拶とします。

皆様、本年もどうかよろしくお願ひします！！

break time

一筆書き その3

さて、年越しをしてしまいましたが、一筆書きのまとめのお話に入りますね。

なぜ一筆書きができるものとできないものがあるのでしょうか。どこにその違いがあるのでしょうか。これについて、考えていきたいと思います。

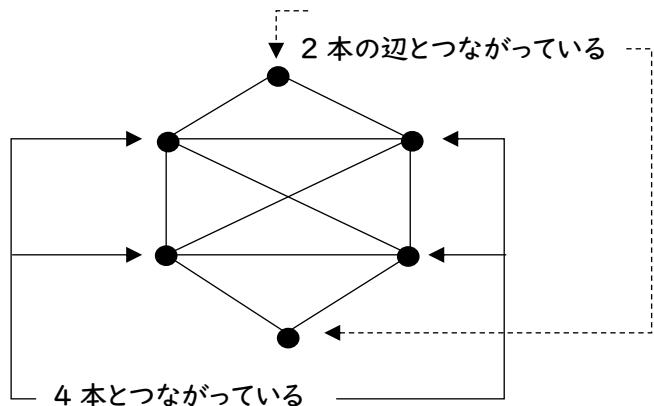
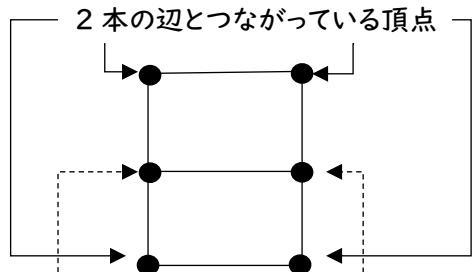
実は、一筆書きができる図形には、以下ののような共通点があります。

★すべての頂点が、偶数個の辺とつながっている。

または

★2つの頂点だけが奇数個の辺とつながり、他の頂点はすべて偶数個の辺とつながっている。

それでは、一筆書きができる図形を確認してみましょう。●印のところが頂点（辺とつながっているところ）と考えてください。



自分でいろんな図形を描いてみて、一筆書きができるかどうか試してくださいね！！